

令和8年度2学期始業式 校長の言葉

令和8年8月28日（金）

みなさんおはようございます！

2学期がスタートしました。まだまだ暑い日が続きますが、皆さん元気でしょうか。夏休み中は、多くの運動部をはじめ、文化部も、暑さ対策に工夫しながら、頑張っていましたね。そのいつもの風景に加え、今年は、夏期補習も延べ400名近い生徒が参加したと聞いています。一昨年までやっていなかったことを考えると、大きく変化した夏になったと思います。

さて、9月12日13日には、第4回瀬谷虹祭が予定されています。夏休み中にクラスの様子を見てみると、どのクラスも看板などの準備に取りかかっていたね。また、文化祭スタッフも夏休み中、「虹」の準備をしていました。「文化祭」の思い出は、おそらく生涯残るものだと思います。自分も覚えています。最高の文化祭にしてもらいたいです。

この夏休みに、大和のシリウスでの学校説明会やオープンスクールを行ったのですが、どちらも申し込みの段階では、満員となり、「公私合同説明・相談会」でも、一時は満席になり、立ち見の方々も熱心に、本校の説明を聞いてくれました。そこで、オープンスクールの時に、広報委員の生徒の一人が、横浜瀬谷を志望校にした決め手が、文化祭を見に来た時に、楽しかったことと、先輩達の楽しそうな姿や雰囲気の良さだと説明していました。皆さんが、楽しく文化祭をすごして、最高の思い出にしてほしいと思うのと同時に、皆さんは、ホスピタリティーを持って来場されたお客様に楽しんでもらえるような文化祭を目指してほしいと思います。ホスピタリティーとは、一言で言えば「おもてなし」です。ディズニーランドのホスピタリティーは有名だと思うのですが、それは「相手を期待以上に喜ばせること」だそうです。期待以上だからこそ、何度もディズニーに行く人がいっぱいいるのだと思います。

横浜瀬谷の文化祭は楽しかった。来年も行ってみようと言われるような進化続ける文化祭でありたいですね。それには、ホストである生徒の皆さん全員が、頑張らなくては、できないものだと思います。昨年の後夜祭が終わった後、職員玄関で、皆さんを送り出していた時、「やりきったぞ」という満足感に満ちた顔の生徒や、「今日で引退です。悔いはないです。」と泣きながら話してくれた生徒もいました。文化部の生徒にとっては、今日が引退の日になるんだなと思いました。それまで、思い切り、練習を頑張りましょう。

文化部と言えば、鎌倉、江の島写真コンクールの写真部の特選の表彰は終業式に行いましたが、フォークソング部からもうれしいニュースがありました。それは、昨年に続き関東甲信越グランプリ大会に出場が決まったということです。昨年は、応援に行く機会に恵まれましたが、各校、出場するバンドはもちろんですが、応援賞というようなものがあり、応援も工夫され、会場中が熱気にあふれていました。全国大会へ出場できるよう頑張ってください。また、吹奏楽部も、昨年に続き、横浜地区大会を勝ち抜き、県大会へ出場しました。吹奏楽部は、これらの実績と、皆さんがボランティアで参加したフラワーロードプロジェクトや日本政府苑に出展するなど、GREEN×EXP0207と関係性が深いという理由もあり、来年の5月

に GREEN×EXP02027 の会場で行われる第 38 回「みどりの愛護」のつどいで、全国からの来賓の前で、式典のウェルカム演奏と植樹式会場での演奏をするという依頼が県からありました。貴重な機会になると思いますので、頑張ってください。

また 9 月 7 日（月）には、7 時間目に神奈川県黒岩知事が、2 年生の未来共創プロジェクトを見学に来校され、その後に、未来共創ラボの生徒たちと対談する予定となっています。

2 学期は、文化祭をはじめ、行事が目白押しで、2 年生は 9 月 30 日から 2 泊 3 日で沖縄に修学旅行に行きます。そして 11 月 5 日には、陸上競技大会が予定されています。文化祭が終わると、9 月 22 日からいよいよ体育館の長寿寿命化工事が始まる関係で、部室の引越しや自転車置き場の変更、工事が始まりますので、制限区域もでてきます。安全には細心の注意を払いますが、皆さんも協力してください。

いよいよ年内入試の生徒は本番ですし、一般選抜に向けても、伸び悩みの時期を経験している、焦っている人もいるかもしれません。進路の手引きに書きましたので、読み返してもらえるとありがたいのですが、『2040 年の AI 時代には、覚えた知識がどれだけ多いか、それを速く正確に答えられるかといったことが、教育現場では評価されなくなるのではないか、むしろ多様な個性や能力を生かして、「自ら問いを立てる力」「他者とともに価値を創り出す力」を身につけているか、そういったことが評価されるのではないか。』と書かれています。」という文科省の文書を載せましたが、この覚えた知識がどれだけ多いか、それを速く正確に答えられるかということが、一般選抜で問われるわけで、そのためには、予備校や学校で人から教わり、理解できたと思うだけでは不十分で、いかに多く、自分で反復して量と質をあげていくことが必要です。人に教えられるようになって初めて、自分のものにはなるという話もよく聞きます。職員室前に掲示されていますが、4 期生である 3 年生は、7 月時点で、準 1 級が 3 名、2 級が 92 名と開校以来一番多い人数となっていますし、これからもっと増えていくと思います。是非頑張ってください。1, 2 年生の皆さんも、先輩に続いて、自分でやる勉強を習慣化してください。期待しています。